

指定管理者の管理運営評価表

施設名	五泉市村松デイサービスセンター	担当課名	高齢福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 五泉市社会福祉協議会		

区分	選定基準	評価項目	具体的業務要求水準	評価
公平性 透明性	市民の平等な利用が確保されること。	「市民の平等利用が確保されること。」に対する基本的考え方（理解度、取組姿勢など）	○正当な理由なく利用を拒むような事はないか。 ○関係機関との連携により施設やサービスについて市民に広く PR されているか。	A
		平等利用を確保するための体制が確立されていたか（モニタリングなど）	○低所得者等に対しての社会福祉法人減免等を講じるなど、利用しやすい体制を整えているか。 ○関係機関との連携により利用者の個別支援や事業の実施について情報を共有し、適切なサービスが提供されているか。	A
		個人情報の保護、情報公開、広報の方法などが適切に図られていたか	○五泉市個人情報の保護に関する法律施行条例及び五泉市情報公開条例等に沿った規定や方針が設置されているか。	A
		その他管理者の提案によるもの		
効果性 効率性	事業計画書の内容が、指定施設の効用（設置目的）を最大限に発揮し、その管理の効率性が図られるものであること。	「事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限に発揮するものであること。」に対する基本的考え方（理解度、取組姿勢など）	○通所介護事業及び介護予防通所介護相当事業の提供は適切に行われているか。 ○介護扶助者の受入は適切に行われているか。	A
		業務の改善や工夫は十分であったか また、再委託する業務の内容及び委託先の妥当性はあったか	○内部及び外部による具体的かつ適切な職員研修が行われていたか。 ○利用稼働率は適切であったか。 ○再委託については市の承認を得ているか。	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策は確立されていたか	○利用者の意向調査等が行われていたか。 ○要望や苦情などに対する相談先が明確にされているか。 ○苦情処理に関する必要な要項等は定められているか。	A

		利用者に対するサービス向上の方策が図られていたか	○利用者の意向調査等が行われていたか。 ○利用者のケース検討を行いケースに応じたサービスが提供されているか。	A
		利用の促進、利用者増の方策が図られていたか	○PR パンフレットの作成など PR は十分であったか。 ○広報誌などの発行はあったか。 ○利用者が過ごしやすいようにサービスメニューが工夫されていたか。	A
		サービスの質を確保するための方策が図られていたか	○利用者の意向調査等が行われていたか。 ○サービス内容についての点検や評価をスタッフ間で定期的に行っているか。 ○内部及び外部による具体的かつ適切な職員研修が行われていたか。	A
		施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置であったか	○看護師や介護福祉士などの有資格者が適切に配置されていたか。	A

区分	選定基準	評価項目	具体的業務要求水準	評価
効果性 効率性	事業計画書の内容が、指定施設の効用（設置目的）を最大限に発揮し、その管理の効率性が図られるものであること。	「事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること。」に対する基本的考え方（理解度、取組姿勢など）	○資産及び会計管理が収支計画に基づいて執行されているか。	A
		指定管理経費に妥当性があったか（サービスとコストのバランスなど）	○収支計画に基づき、管理委託業務が適切に実施されているか。	A
		収支計画に妥当性があったか	○収支計画どおりに執行されたか。 ○収支は黒字であったか。	B
		管理経費縮減の具体的方策が取られていたか	○複数の見積りでの比較等による経費削減はされていたか。 ○購入の必要性など十分に考慮されているか。	A
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策が取られていたか	○利用者の支払方法に工夫はされているか。 ○計画的な事業の拡大に努めているか。	A

		その他管理者の提案によるもの		
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有していること。	「事業計画書に沿った管理を安定して行う人的能力、物的能力を有していること。」に対する基本的考え方（理解度、取組姿勢など）	○看護師や介護福祉士などの有資格者が適切に配置されていたか。 ○内部及び外部による具体的かつ適切な職員研修が行われていたか。	A
		当該公の施設に必要な管理能力を有していたか（組織及びスタッフの経歴、保有する資格、ノウハウ、専門的知識など）	○役員の選任等は公平に行われていたか。 ○評議員会は適切に運営されていたか。	A
		経営基盤の安定性が確保されていたか	○資産及び会計管理が収支計画に基づいて執行されていたか。	B
		スタッフ等の管理、監督体制が確立されていたか	○内部検討・報告会議等が定例的に行われていたか。	A
		スタッフ等の人材育成の方策が確立されていたか	○内部及び外部による具体的かつ適切な職員研修が行われていたか。	A
		リスクへの対応策が確立されていたか（防止策、非常時の対応マニュアル等）	○消防計画は設定されているか。 ○事故発生時対応マニュアルは設定されているか。 ○非常災害時対応マニュアルは設定されているか。	A
		リスクへの対応能力は十分であったか（資金力、損害賠償能力など）	○損害賠償保険等に参加しているか。	A

区分	選定基準	評価項目	具体的業務要求水準	評価
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有していること。	グループ応募の場合、グループの安定性は確保されていたか	○グループ応募ではない。	
		グループ応募の場合、役割分担及びリスク分担などの確実性及び妥当性が確保されていたか	○グループ応募ではない。	
		その他管理者の提案によるもの		

貢献性	事業計画書の内容が、五泉市の振興・活性化に貢献できるものでありこと。	「事業計画書の内容が、五泉市の振興・活性化に貢献できるものであること。」に対する基本的考え方（理解度、取組姿勢など）	○施設の利用稼働率は十分であったか。 ○事業の拡大に努め、新たな雇用の場を生み出しているか。 ○地域住民との交流活動等がなされているか。	B
		地元法人その他の団体の育成について、積極的であったか	○市内関係各機関との情報交換及び連携会議への参加は積極的であったか。 ○地元ボランティア等の活用がなされたか。	A
		地元住民、高齢者、障害者等の雇用について、積極的であったか	○地元市民を優先して採用しているか。 ○障害者の採用は厚生労働省の方針に基づいているか。 ○高齢者の採用はあったか。	A
		地元での資材等の調達を積極的に行っていたか	○資材等購入に際して、市内業者を優先していたか。	A
		その他管理者の提案によるもの		

■総合評価（コメント）

要求水準に基づく評価は、A 評価 23 項目・B 評価 3 項目となり、概ね協定書・業務仕様書・事業計画書のとおり管理運営されているといえる。

令和 7 年度における施設の利用状況は、年間 361 日開設し、延 8,845 人（前年比+89 人）の受入を行った。一日当たりの利用者数は 24.5 人（前年比+0.2 人）であり、昨年度より改善し、30 人定員のうち一日平均 8 割以上の受け入れを行ったことになる。

また、衛生面でも感染症などはあったものの、施設が休業にいたるような事態にはならず、運営できたことは評価できる。

一方で、介護度が軽度の方のセイフティーネットとしての役割もあり、要支援者の受け入れも多く、稼働率は回復しているが、報酬面での改善が順調とは言い切れない部分がある。そのため更なる業務改善に努めること。また、利用者に信頼され親しまれるデイサービスであるように、今後とも取り組んでほしい。

以上のことから、(社)五泉市社会福祉協議会は、指定管理者として概ね良好であると評価する。